

### 事例3 「おかげ横丁」(三重県伊勢市)

#### ～ 古き伊勢参宮街道の再現による門前町の活性化 ～

所在地(行政人口)	三重県伊勢市(100,145人 H12国勢調査)
活用資源(立地)	歴史的街並み(中心市街地外)
活用方法	観光商業拠点整備
中心市街地活性化基本計画提出日	H11.7.30

1. 事業の経緯

「おかげ横丁」は、古くから伊勢神宮の門前町として栄えた三重県伊勢市(人口100,145人H12国勢調査)の郊外、伊勢神宮の内宮門前町「おはらい町」に立地している。近年の伊勢神宮の内宮への参拝客は、年間400万人前後であるが、モータリゼーションの進展、レジャーの多様化に伴い、内宮の参拝のみで門前町の「おはらい町」に立ち寄らず移動する観光客が増えはじめ、「おはらい町」を訪れる観光客は、昭和60年代には約20万人に落ち込み、活気を失ってしまった。

そこで、「おはらい町」の活性化を図るため、平成5年7月、民間企業の(株)赤福が単独で、「おはらい町」の中心部に、三重県の特徴ある木造建築で「遊・食・楽」の三面から楽しめる「おかげ横丁」を整備し、観光客の集客に取り組んだ。その結果、平成15年には、「おかげ横丁」を訪れる観光客は320万人となり、「おはらい町」の活性化が図られた。

なお、「おはらい町」の活性化については、「おかげ横丁」の整備のほか、昭和54年には「内宮門前町再開発会議(平成6年「伊勢おはらい町会議」に改名)」が結成され、平成元年には「伊勢市まちなみ保全条例」が制定された。行政によるおはらい町の保全事業としては、「伊勢市まちなみ保全条例」の保全整備基準(切妻、妻入り、木造など)に従った保全地区内での新・増改築向け低利融資(3000万円まで)や、無電柱化工事、道路再舗装(石畳)工事などが行なわれた。(行政によるおはらい町の保全事業は、(株)赤福からの寄付金を基金として行なわれた。)

2. 事業の概要

「おかげ横丁」は、旧参宮街道筋の「おはらい町」の中心部、約2,700坪(約9,000㎡)の敷地に江戸から明治にかけての伊勢参宮街道の賑わいを再現する店舗等(飲食店、物販店、美術館等、27棟、42店舗)を整備したもののだが、いわゆるテーマパークではなく、活気の失われた内宮門前町の「おはらい町」に、かつての賑わいと古き良き時代の魅力を取り戻すために、この地を訪れる観光客をもてなす施設である。

また、「おかげ横丁」の名前の由来は、「おはらい町」で三百年近く商いを続けていることへの感謝の気持ちと、江戸時代にはやった「おかげ参り」の故事に因んでいる。総事業費は140億円で、(株)赤福が整備し、運営はグループ会社の有限会社伊勢福が行なっている。

< 概要 > 「おかげ横丁」

所在地 : 三重県伊勢市宇治中之切町 5 2 番地

施設規模 : 敷地面積 : 約 2,700 坪 (約 9,000 m<sup>2</sup>) 42 店舗 27 棟

オープン : 平成 5 年 7 月 16 日

事業主体 : 株式会社 赤福

運営主体 : 有限会社 伊勢福

事業費 : 140 億円

入場料 : 無料 (おかげ座のみ 大人 600 円 子供 300 円)

営業時間 : 年中無休 4 ~ 9 月は 9 時 30 分 ~ 18 時  
10 ~ 3 月は 9 時 30 分 ~ 17 時

(一部飲食店延長あり・繁忙期は特別設定)

店舗数 : 42 店舗 (赤福運営 3 店舗・伊勢福直営 24 店舗・委託 14 店舗)

施設構成 : 27 棟 (飲食 7 店舗 物販 30 店舗 美術館・資料館・他 4 館)

おかげ横丁配置図



1. 赤福本店
2. 赤福別店舗
3. 五十鈴茶屋
4. くつろぎや
5. 味匠館
6. 若松屋
7. ケーキラボ
8. 若松屋蒲鉾工房
9. 美杉郷八知玉屋こんにゃく工房
10. 美杉郷八知玉屋
11. 傳兵衛
12. 貝新水谷新九郎
13. 捨や平成和さんま
14. 神路屋
15. 宮忠
16. みえぎょんさん
17. 志州からき屋
18. 吉兆招福亭
19. 徳工場の店
20. 孫の屋三本
21. おかげ座
22. つばや
23. 季節屋台
24. カメヤマローンク
25. しるがね屋
26. 御木本真珠島店
27. はいからさん
28. 大黒ホール
29. 伊勢路名産味の館
30. 海彩丸
31. 伴茶屋
32. 藤屋
33. 山口誓子俳句館
34. 徳力富吉郎版画館
35. 団五郎茶屋
36. 経屋
37. 太鼓橋
38. ふくすけ
39. おみやげや
40. もめんや館
41. 伊勢基内宮前酒造場
42. 絵的屋久兵衛
43. 横丁棋院
44. むしろ
45. 益屋茶屋
46. 他揚きだんらん亭
47. くみひも平井
48. どうぶや
49. 伊勢路裁苑

資料 : おかげ横丁HPより抜粋

位置図



おはらい町 (旧参宮街道筋)

赤福本店(おかげ横丁入口付近)



おかげ横丁 (ふくすけ: 伊勢うどん)



おかげ横丁 (伊勢路名産味の館)



おかげ横丁 (おかげ座: 資料館)



おかげ横丁の路地景観



おかげ横丁の路地景観



道路再舗装(石畳)事業(おはらい町)



### 3. 事業の効果

#### (1) 賑わいの創出、門前町の再生

「おかげ横丁」の整備により、「おかげ横丁」の整備前は約 35 万人（平成 4 年）であった「おはらい町」の観光客数が、「おかげ横丁」のオープン年には半年間で約 64 万人と約 2 倍に増加し、10 年後の平成 15 年には 320 万人となり、賑わいが取り戻され、「おはらい町」の活性化が図られた。

また、「おかげ横丁」の観光客アンケート調査から観光客の特性をみると、性別、年代とも幅広く、約 8 割がリピーターとなっており、観光客に「おかげ横丁」の整備コンセプトが受け入れられていることが分る。

おかげ横丁への観光客数の推移 単位：万人

期 間	全入丁者
平成5年7月～12月	63.6
平成6年1月～12月	200.5
平成7年1月～12月	200.5
平成8年1月～12月	229.5
平成9年1月～12月	240.1
平成10年1月～12月	230.0
平成11年1月～12月	250.0
平成12年1月～12月	263.0
平成13年1月～12月	288.5
平成14年1月～12月	299.6
平成15年1月～12月	320.7

おかげ横丁の観光客アンケート調査結果(平成 15 年 2～4 月)

項 目	調 査 結 果
平均年齢	20～30 歳代:40～50 歳代:60～70 歳代 = 3 : 4 : 3
男女比	男:女 = 4 : 6
在住先	三重:愛知または岐阜:関西:その他 = 2 : 3 : 3 : 2
利用交通機関	自家用車:団体バス:公共交通機関 = 6 : 2 : 2
利用駐車場	内宮前:おかげ横丁:市営浦田:その他 = 5 : 1 : 3 : 1
リピート回数	はじめて:2～3回:4～7回:8回以上 = 2 : 3 : 2 : 3
滞在時間	1時間以内:2時間:3時間:4時間:5時間以上 = 1 : 4 : 3 : 1 : 1
来丁動機	何度来ても好き:雑誌またはガイドブック:口コミ:テレビまたはラジオ:パックスツアー:インターネット:研修または視察:知人を案内(知人に案内されて):まわりゃんせ:参拝ついで = 4 : 2 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1
来丁形態	家族:友人:カップル = 6 : 3 : 1
同伴人数	2名:3～4名:5～8名:10名以上 = 4 : 3 : 2 : 1
レジャー形態	日帰り:1泊2日:2泊3日以上 = 4 : 5 : 1
横丁以外の立ち寄り先	神宮:鳥羽:二見:志摩:その他 = 3 : 3 : 2 : 1 : 1

#### 4. 成功の要因

##### (1) 開発の熱意と事業推進力

「おかげ横丁」は、民間企業の㈱赤福が、1社（グループ会社含む）で精力的に開発した民間開発型の施設であり、統一コンセプトに基づき、一体的、継続的に運営することができ、完成度の高い事業を進めることができた。

##### (2) 観光客のニーズにマッチした開発コンセプト

古き良き時代の伊勢情緒、憩い、くつろぎ、もてなしの精神など「おかげ横丁」の開発コンセプトが、今日の観光客の本物志向、癒し志向にマッチし、リピーターが8割以上、年間300万人以上が訪れる施設を作ることができた。

#### 5. 課題と対策

##### (1) 商品開発

「おかげ横丁」は、伊勢文化、伊勢路の魅力の提供をコンセプトの1つにしており、現在「おかげ横丁」で提供している商品、サービスのほか、伊勢ブランドと言うべき価値のある伊勢の物産等の提供、商品化、及びそれを作る職人等の育成が今後の課題となっている。

##### (2) 周辺の交通対策

開発前の10倍程度の観光客が入込むようになったことで、近隣道路への不法駐車や交通渋滞などの問題が発生し、その対策を進めている。

#### 6. 今後の予定

今後の予定としては、さらに「おはらい町」全体の活性化を図るために、「おはらい町」の中で「第2おかげ横丁」の開発が検討されている。